

Title	三田哲學會記事
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1938
Jtitle	哲學 No.19 (1938. 3) ,p.232- 233
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000019-0232

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田哲學會記事

○昭和十二年九月二十九日(水)午後三時半 於万來舍例會開催。

東洋哲學に就て……………小柳司氣太君

日本に於ける哲學探究の過去並びに所謂東洋哲學が支那哲學を意味する様になつた所以を懐古せられ、孔孟、老莊の哲學を相對照されつつ、その根本特性、即ち、その非方法的、非懷疑的、信念的、註釋的、神祕象徴的、修養的特性を興味深く論ぜられた。

○昭和十二年十月二十七日(水)午後三時半 於大學第 番教室例會開催。

存在の論理學と傳統哲學……………松本正夫君

哲學第十八輯所載の「存在の論理學」の主張をアリストテレス哲學のスコラの繼承に關して吟味せんとし、先ず、「ある」の論理學の範疇の論理學なること、實體に關して辨證法を導入すること、屬性、偶性の區別を一般と個別とによつて規定せること、「存在するもの」と「存在」を區別して前者に形相質料の領域的原理、後者に各範疇の様式的原理を指定し、存在の論理學が後者より前者に向ふことを主張した。

○昭和十二年十一月二十六日(金)午後一時 於大學第二十二番教室公開講演會開催。

支那哲學に於ける政治の原理……………高田眞治君

先ず孔子以前の天道中心の政治思想を仔細に解説せられ、更に孔子以後の人道中心の政治思想、就中孔子の徳治主義に對する韓非子の法治思想を各々の基礎となれる人間觀と共に論述せられ、最後に現代支那の三民主義を論述批判せられた。

政治教育に就て……………小林澄 兄君

先づ政治教育の意味を解説し、教育目的論の六個の類型より、ケルシェンシュタイネル、シュブランガー、リット、アロイス・フイツシャー、ハンス・フライヤー、及びクリーグ、ポイムレルの所説を検討せられ、結局新時代には主観的現實理想主義と客観的現實理想主義の統合をはかる新人文主義的國民教育思想に基く政治教育が要望せられる所以を論述せられた。

○昭和十三年一月二十六日（水）午後三時半 於万來舎例會開催。

大乘起信論の論理……………山本秀 夫君

起信論の史實を述べ、更に起信論の意味内容を普遍的に解明せん爲にはその中に豫想せられる論理を究明するの要あるを指摘し、本論に入つて、カント、ヘーゲル、現象學の諸概念とその内容を逐次相對照せしめられた。（詳細は本輯所載「大乘起信論の論理」参照）

○昭和十三年二月九日 午後五時 於赤坂幸樂。本年度卒業生諸君論文發表並びに送別晚餐會開催。當日發表せる論文左の如し。

「カントの構想力に就て——圖式論を中心として——」……………長田義 雄君

「法本質論の諸相」……………伊東宗 一君

「ハンス・フライヤー社會學研究 併せて社會學の現實性と歴史性の問題に就て」……………藤村昌 男君

「明治前期の地租問題の社會學的一考察」……………大江季 雄君